

2022 年度 臨時理事会議事録

一般社団法人日本ねじ工業協会

開催日時：2022 年 7 月 28 日（木）13：00～15：15

開催方法：Web 会議（Zoom）

現在の理事数 10 名

出席した理事数 8 名

現在の監事数 2 名

出席した監事数 1 名

（順不同、敬称略）

○理事出席（8 名）

代表理事（会 長）	佐藤 義則	株式会社サトーラシ
理 事（副会長）（事務局担当）	高須 俊行	富士セイラ株式会社
”（副会長）	藤田 守彦	藤田螺子工業株式会社
”（副会長）	嶋田 守	株式会社フセラシ
”（中部支部長）	長谷川 裕恭	株式会社メイドー
”（関西支部長）	後藤 晴雄	株式会社朝日押捻子製作所
”	檜本 隆之	株式会社三和鋇螺製作所
”	北井 敬人	ケーエム精工株式会社

○監事出席（1 名）

監 事	山口 誠一	株式会社山口ナット
-----	-------	-----------

○理事欠席（1 名）

理 事（関東支部長）	望月 紀人	クラウン精密工業株式会社
------------	-------	--------------

○監事欠席（1 名）

監 事	池田 裕之	池田金属株式会社
-----	-------	----------

○議 題 1. 協会の組織改革について

- ・事務局改革
- ・役割分担
- ・役職の再任限度

2. 講習会／説明会等の今年度実施事業について

3. 会費の見直しについて

○議 事

高須副会長から定数を確認し、8 名の理事本人が Web 会議に参加しているので

理事会が有効に成立している旨を報告し、その後、会長より、協会も 2022 年度に新体制で新年度事業がスタートしており、協会変革などの検討案件があるので臨時理事会の開催となった旨説明の後、開会の挨拶があった。

その後、会長が議長となり議事に入った。

議題 1. 協会の組織改革について

(1) 事務局改革

高須副会長より、事務局改革として、事務局方針を取り纏めた旨説明の後、共有画面で確認した。その後既に理事に報告済の経費報告の中にあった事務局改革経費については、事務局の教育経費として今年度分として計上しており、現在進めている旨説明があり、議長より、議場に諮った結果、異議なく承認された。

(2) 役割分担

高須副会長より、正副会長等の役割について以下のとおり確認した後、議長より、議場に諮った結果、原案どおり承認された。

- ・ 正副会長は協会全体の業務執行に係わる事項について検討、決定して理事会に諮問する。

(地域性のある業務執行については、正副会長はどの地域から選出されたかを問わず全ての地域担当となる)(選出された地域の担当副会長ではない)

- ・ 支部懇談会等の地域性のある関東、中部、関西の支部関係業務執行に係わる事項については、各支部長が責任をもって業務執行する。

続いて、組織改革について組織図も含めてもう一度見直して整理するよう継続審議とした。また次回審議では、当日に資料配布するのではなく事前に資料を配布した上で、理事会でご審議いただく事にする旨確認した。

(3) 役職の再任限度

高須副会長より、協会の活性化を図るためにも、今後は、会長・副会長の再任限度は、原則として2期4年とする旨説明し、議長より、議場に諮った結果、異議なく承認された。また理事の定年制については、継続審議とした。

議題 2. 講習会／説明会等の今年度実施事業について

高須副会長より、今年度事業として講習会等を計画したい旨説明。

続いて、講習会等には以下のような事務局案があるが、その他に案があるかを議場に諮った結果、ネットセキュリティの講習会について開催要望の提案があった。

- ・ 幾何公差講演会
- ・ インボイス説明会
- ・ カーボンニュートラル関係講演会

以上の内容をもとに、今年度事業として技術委員会を通じて計画を進めて詳細を改めて理事会に報告する旨説明があり、議長より議場に諮った結果、異議なく承認された。

議題 3. 会費の見直しについて

高須副会長より、前回実施した会費の見直しのための会員の従業員数及び売上高調査については、直近2回を実施してない旨説明の後、前回調査の案内文書を、共有画面で議場に確認の上、以下について意見交換を実施した。

- ・ 売上高の算出根拠となる製造機械の定義について
- ・ 会費規程にある「申告がない場合は、次年度の会費金額は前年度と同額とする。」への対応について

結果、会員のためにも、最新の会員の従業員数及び売上高調査を実施する必要性があることから、会費の在り方や会費の見直しを含む会費規程の変更については、継続審議として、まずは同調査を、これまで実施しなかった理由を明示した調査案内文書を、理事会で確認した上で、今年度中に実施する事にしたい旨説明があった。また、意見交換の中で意見が出た会費徴収免除については、今後の事業実施状況を確認した上で、改めて審議する事とした。以上会費の見直しについて、議長より議場に諮った結果、異議なく承認された。

○報告事項

・諸規程について

佐藤会長より、諸規程について現状にあった修正が必要である旨確認の報告があった。

・年間スケジュールについて

高須副会長より、全体年間スケジュールについて、手順を追って進められるようにプロセスを含めて記述するようにして作成した旨報告があり、同スケジュールを画面共有で確認した。

続いて、以下については、開催時期の状況によって最終的な実施を判断することとして、基本的には実施する事としたい旨報告。

9月1日	理事会（Web開催）
10月15日～（12月4日）	千葉県立現代産業科学館 企画展示会
12月1日	理事会・忘年会（大阪）
12月中	関東支部懇談会
1月19日	2023年賀詞交歓会

・材料アンケートについて

藤田副会長より、アンケート結果を取り纏めたものを先ず第一段として会報ねじに情報発信した旨報告。続いて材料アンケートについては日本ねじ商業協同組合連合会でも実施し、その結果を踏まえて需要家向けに要請文書を作成して配布したので、当協会でも、改めて要請文書の原案を作成した上で、理事会で承認いただき会員に配布することにしたい旨報告。

・千葉県立現代産業科学館 企画展示会について

藤田副会長より、千葉県立現代産業科学館（千葉縣市川市）では、「ねじ」を取り上げて企画展（会期：10月15日～12月4日）（テーマ：ネジる ツナがる ーモノ × 人ー）を開催するのにあたり、その一部分の展示について、当協会に展示品等、展示協力依頼があったため、パブリシティの一環として協会として協力（経費については運賃やパネル作成費等のみであり科学館側にも一部負担して貰える）する事として、現在、13社の展示協力会員企業と出展に向け進めている旨報告。

・インドネシア輸入制限について

藤田副会長より、インドネシア輸入制限への対応については、これまで経済産業省にも相談してきたが、現在は藤田螺子工業を中心にしてインドネシアに進出しているねじ関連企業と共に、本件についてインドネシア現地でJCC（ジャパン・ジャカルタ・クラブ）（インドネシア国内の日系企業で構成される商工会議所的存在）に働きかけを行っていくという状況にある旨報告。

・60周年記念誌について

藤田副会長より、60周年記念誌が完成したので、お菓子セット共に会員1社に2冊配布する旨報告。続いて60周年記念誌の配布をもって60周年記念事業が終了するので、決算報告を作成した上で改めて理事会に報告する旨確認。

以上で議事の全てを終了し、15:15に閉会した。

以上の議決を明確にするため本議事録を作成し、議長及び議事録署名人がこれに押印する。

2022年7月28日

一般社団法人日本ねじ工業協会

会 長 佐 藤 義 則



議事録署名人 高 須 俊 行



議事録署名人 山 口 誠

